

# 甲府別院の沿革

1548(天文16)年

天文年間、相模国鎌倉常葉町の蛇伏山長延寺(現在の真宗大谷派永勝寺;横浜市戸塚区)の住職実了は、領主北条氏康と相容れず甲斐の国に移り、武田信玄の庇護を受け、後に長延寺を再興する。信玄は実了の人柄に共感し次男庄藏の子顕了を実了の下に養子縁組させ、境内血2万坪、寺領2千石を寄進している。

1582(天正10)年

天目山の戦いで、信長・家康により勝頼が敗れると、武田家と特別な関係にあった長延寺は、信長によって焼かれる。実了は焚死し、顕了は信州犬飼村(この地に現在の真宗大谷派善勝寺を建立;長野県飯田市)に逃れ、徳川の統治領になると甲斐に戻り、当別院の現在地である北山筋中郡遠光村に長延寺を再興する。

1614(慶長18)年

本願寺第12代教如上人が、この廃寺となった寺地に本山掛所を設け化竜山光澤寺と号した。徳川幕府に請い、境内地1万8千坪、寺領20万石の御朱印(花押のかわりに文書に捺したもの)を受け、諸殿諸堂を整え、以後真宗門徒の護持により、この地における弘教の中心的存在となった。

1716(享保元)年

辻藤右衛門により経堂が寄進される。火災・戦火を免れて現存している。

1856(安政3)年

本堂その他の堂宇が焼失し、1863(文久3)年、仮本堂が建設される。

1911(明治44)年

明治時代になって廃仏毀釈のあおりを受けて、山内寺院の統合などを経て、本堂が建立される。本山阿弥陀堂を模して造られた本堂を中心とする大伽藍であった。その伽藍も大戦中の1945(昭和20)年7月の空襲によって全焼する。

1963(昭和38)年

別院本堂がようやく再建され、耐火耐震設備を備えた現代的な建築物として再建。

2016(平成28)年

甲府別院光澤寺宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要が厳修される。この御遠忌法要の記念事業として、本堂が改修された。




## 交通のご案内

 自動車

中央自動車道「甲府南」インターまたは「甲府昭和」インターから甲府市街地方面へ約20分

 公共交通機関

JR甲府駅から山梨交通バス(伊勢町行き)にて「太田町見附」下車徒歩5分

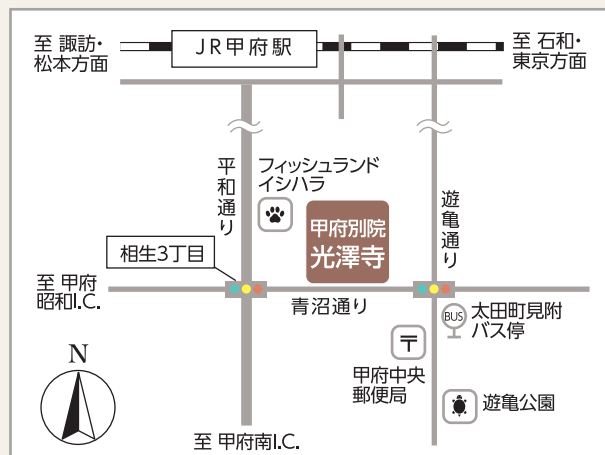
 または JR甲府駅からタクシーにて約10分

 真宗大谷派  
甲府別院 光澤寺

〒400-0858 山梨県甲府市相生3-5-7

TEL 055-227-2346 FAX 055-227-2395

URL koutakuji.jp ✉ temple-koutakuji@estate.ocn.ne.jp



2019.12.1000



真宗大谷派  
甲府別院  
光澤寺





### 経蔵

安政三(1856)年の火災、昭和二十(1945)年の甲府空襲にも焼け残り、昭和五十九(1984)年の御修復を経て、江戸時代からの由緒を今に伝えている。



現存する輪蔵の彩色



輪蔵



### 本堂内陣

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要厳修の折、念仏申す「人の誕生」「場の創造」を願い修復された。



戦災前の旧本堂

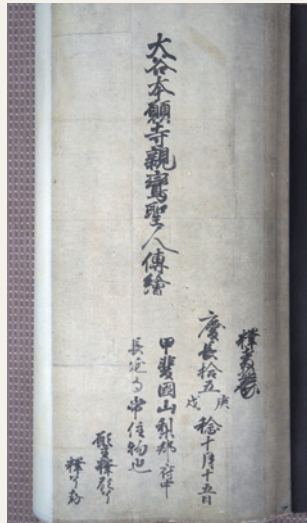
### 甲府別院光澤寺 年中法要・行事

- 10月 報恩講  
2日間お勤め致します。
- 毎月 親鸞聖人ご命日のつどい
- 28日 (10月と1月は休会です)
- 1月 修正会
- 3月 春季彼岸会法要
- 4月 春の法要(親鸞聖人御誕生会)
- 8月 暁天講座
- 8月 孟蘭盆会法要
- 9月 秋季彼岸会法要



### 武田信玄像

袈裟を身にまとう。風林火山の句が付されている。



### 親鸞聖人絵伝

慶長十五(1610)年、東本願寺第十二代教如上人より下付され現存する。



### 永代合祀墓「無量寿」

法義相続を願い、2018年に建立。